

中1 校内での観察 私の写真日記から (2016 年春)

筑波大学附属視覚特別支援学校 武井洋子

入学したばかりでまだ校内の地図が頭に入っていない中1を校舎の外に連れ出すところから理科（生物範囲）の授業は始まります。今回は、4月下旬の時期にしかできない観察の一つをご紹介します。（以下、Tは教師、Sは生徒です）

★ 4月27日「常緑樹は落葉するのか？」

T「樹木Aと樹木Bの違いを言ってもらおうよ。葉を触って、何か気がつくことはありませんか？」（Aには手の届くハクモクレン、Bにはクスを選びました。）

S「Aは柔らかい葉っぱばかりだけど、Bは柔らかいのと堅いのとがあります。」

T「そうそう。すごい発見だね。Bの柔らかい葉は枝のどの辺についているの？」

S「柔らかい葉っぱは手前の方。」

T「手前というのは、〇〇さんの手前ということね。植物の気持ちになって言う
と、枝のどの辺かな？」

S「枝の先（上）の方。」

...

T「柔らかい葉はなぜ柔らかいのだろうね？」

S「春に出たばかりだからじゃないかな。」

T「じゃあ、堅い葉はいつ出たのかな。」

S「去年の春かな。」

T「Bには去年出た葉と今年出た葉があるってことね。じゃあ、Aはなぜ柔らかい葉ばかりなんだろう？」

S「あ、わかった。秋に葉っぱ全部が落ちちゃって、今年の葉っぱしかないんだ。」

T「冬が寒くて葉を維持できない木が、冬が来る前に葉を落としてしまったということですね。なるほど。そういう木のことを何樹っていうか知ってますか？」

S「あ、わかった。落葉樹だ！」

T「そうです。そのとおり！ 落葉樹です。では、それに対して、冬が来る前に落葉しなかった木は何樹だろう？」

...

T「いつも緑を保っている木、常に緑の樹木という意味で常緑樹と言います。じゃあ、常緑樹は落葉しないのかな？ 木の下で探してみよう。」

S「ありました。落ちてました。春なのに紅葉してるし。」

T「落ちた後、腐っていく葉もあるはずだから探してみてね。臭いでわかるはず」

...

こうして得た4段階の葉を写真に撮っておきました。カラーでないのが残念ですが、左から若草色の若葉（柔らかい葉）、前年出た濃い緑色の葉（堅い葉）、赤くなって落ちた葉、朽ちて薄くなった茶色い葉の順です。クスの葉はどの段階の葉も、ちぎると刺激的な臭いがしますので、全盲の生徒にも容易に探せます。

